

13 A案

資料名：デカとぼく

主題名：動物を大事にする心

内容項目：D (18) 自然愛護

1 ねらい 身近な動植物に優しい心で接していこうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ デカの映像資料を見て、教材に関心を持つ。

① カバのデカを見て、どんなことを思いましたか。

- ・すごく大きいなあ
- ・もう天国へ行ってしまったんだね。会いたかったな
- ・やさしそうだけど、大きな口を開けていてびっくりしたよ

◇ 教材を読んで話し合う。

② 坂牧さんは飼育員になってけがをした時、どんなことを思ったでしょう。

- ・デカのお世話は難しいな
- ・デカと仲良くするにはどうしたらいいのかな

③ デカが顔をなめてくれるようになった時、坂牧さんはどんな気持ちだったでしょう。

- ・やっとデカと仲良しになれた。うれしいな
- ・ぼくはデカが大好きだし、デカもぼくのことを好きなんだな
- ・デカのお世話をできてよかったな

④ ペープサートで、デカになってお話ししてみよう。

- ・坂牧さん、いつもお世話をしてくれてありがとう
- ・お口のお掃除をしてくれて、いい気持ちだよ。うれしいな
- ・坂牧さんのこと、大好きだよ。仲良くしようね

◇ 自分の生活を振り返る。

⑤ みなさんも、動物や植物のことを考えて世話をしたことがありますか。

- ・家で育てているアサガオに「大きくなってね」と言いながらお水をあげたよ

◇ 学校や学級で育てている動物について書いた児童の作文を読む。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・動物の飼育や植物を育てる体験をさせてから実践するとよい。
- ・終末では、BGMを流しながら、これまで児童が育ててきた生き物やその世話をしている児童の姿を写真で提示し、余韻を残して終わるのもよい。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校低学年）「13 デカと ぼく」
- ・いしかわ動物園 <http://www.ishikawazoo.jp/>

13 B案

資料名：デカとぼく

主題名：動物を大事にする心

内容項目：D (18) 自然愛護

1 ねらい 身近な動植物に優しい心で接していこうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 動物園などに行った経験を話し合う。

① 動物園や水族館に行ったことがありますか。

- ・動物園に何回も行ったことがあるよ
- ・ふれあいコーナーでウサギを抱いたらかわかったよ

◇ 映像資料でデカと坂牧さんの紹介をしたあと、教材を読んで話し合う。

② けがをして坂牧さんはどんなことを思ったでしょう。

- ・デカのお世話は難しいな
- ・デカの気持ちを考えていなかったよ。ごめんね
- ・あせったらだめだな

◇ 役割演技（ペープサート）を通してデカの気持ちを考える。

③ 口の掃除をしてもらっているとき、デカはどんな気持ちでしょう。

- ・口の掃除をしてくれて気持ちいいな
- ・やさしくお掃除してくれるから、かまないよ
- ・坂牧さんがだいすきだよ。ありがとう

④ 坂牧さんがデカと家族のように仲良くなれたのはどうしてでしょう。

- ・デカのペースに合わせて世話をしたから
- ・デカのしてほしいことを考えて世話をしたから
- ・やさしい気持ちで世話をしたから

◇ 映像資料（坂牧さんのインタビュー）を見たあと、今日の授業で感じたことや考えたことを書く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・デカを知らない児童や坂牧さんのインタビュー内容が難しく感じる児童もいると思われるので、教師が解説をするとよい。
- ・「わたしたちの道徳」P104～109「シロクマ ピース」や「虫が大すき」を終末や授業後に紹介したり、本教材と併せて複数時間の展開を考えたりすることもできる。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校低学年）「13 デカと ぼく」
- ・いしかわ動物園 <http://www.ishikawazoo.jp/>